

各 位

2018年10月30日

会 社 名 : ヤ 洲 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 太 田 明 夫
(コード : 3 1 5 3 東 証 1 部)

問 合 せ 先 : 上 席 執 行 役 員 経 営 統 括 本 部 長 織 田 富 造
(TEL : 0 3 - 3 5 0 7 - 3 3 4 9)

2019年3月期通期連結業績予想の修正 及び 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年5月15日に公表しました2019年3月期通期の連結業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正について(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 修正の内容

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,500	2,150	2,300	1,650	76.38
今回修正予想(B)	76,000	2,250	2,400	1,700	78.70
増 減 額(B-A)	+ 500	+ 100	+ 100	+ 50	
増 減 率 (%)	+ 0.7	+ 4.7	+ 4.3	+ 3.0	
(ご参考)前期実績(C) (2018年3月期)	73,523	2,002	2,171	1,575	72.44
前期実績比 (%) (B/C)	+ 3.4	+ 12.4	+ 10.5	+ 7.9	

(2) 修正の理由

当社グループは、従来より、独自のエンジニアリング会社として、「ソリューションエンジニアリングの強化と拡大」「ビジネスチャンスの拡大」「グループ会社の収益力強化と事業規模(領域)の拡大」に継続して取り組んでおります。

当連結会計年度においては、「ビジネスユニット制の導入」「八洲環境エンジニアリング(株)の設立」「(株)三陽プラント建設の子会社化」などの施策を押し進めております。

そのような状況下、2019年3月期通期の事業の見通しについては、首都圏を中心とした設備投資案件が増加するなど、産業・交通事業セグメントの業績が好調に推移し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも2018年5月15日に公表した数値を上回る見込となりました。

2. 2019年3月期 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2018年5月15日発表)	一円一銭	0円00銭	一円一銭	18円00銭	18円00銭
今 回 修 正 予 想			一円一銭	20円00銭	20円00銭
当 期 実 績	一円一銭	0円00銭			
前 期 実 績 (2018年3月期)	一円一銭	0円00銭	一円一銭	18円00銭	18円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主様に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

当期の期末配当は、業績及び財務状態を総合的に検討した結果、2018年5月15日に公表しておりました2019年3月期の配当予想の普通配当18円について、2円を増額し20円とする配当予想の修正をすることにいたしましたので、お知らせします。

なお、当社は定款の定めに基づき、剰余金の配当については取締役会の決議により決定されますので、配当は2019年5月開催の取締役会で決定する予定です。

※ 上記業績予想見通しは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。

以 上